

支えるのは
地上300mの超高層建築も、
mm単位の技術力です。



安全を守るために妥協を許さない、 それが正光クオリティ

株式会社正光は、建築鉄骨の組立・溶接を中心とした鋼構造物製造業に携わり半世紀を迎えました。その積み重ねてきた高い技術力と確かな品質管理・優れた設計力は、「正光ブランド」として全国に信頼の輪を広げてきました。そして現在、あべのハルカスをはじめとする多くの著名な建築構造物にも正光の鉄骨が採用されるなど、お客様から高い評価をいただいているます。

近年の技術進歩に伴い、建築構造物は高層化・大規模化が進んでいます。また幾度かの大震災を教訓に、高水準の耐震構造が求められています。地上数百メートルの超高層建築物も骨組みとなる鉄骨が根幹であり、安心安全のために「良い鉄骨」をつくることが我々の重要な使命です。ご利用者様の安全を守る「良い鉄骨」とは、強靭で耐久性に優れているのはもちろんのこと、寸分の狂いもなく設計図通りに、そして工期通りに仕上げられた鉄骨であると考えます。当たり前のこととを敢えて当たり前とは捉えず、真摯に向き合うことで、真の「正光ブランド」を築き上げていきます。

すべてはお客様のために

株式会社正光は、これまでお客様の信頼に応え続けてきた50年から次の100年へと、新しい建築の未来と可能性を切り開く一歩を踏み出します。
そして、これからもお客様の期待を裏切らず、お客様の夢を叶えるために成長し続けることをお約束いたします。

株式会社 正光
代表取締役社長
丸尾 将満



鉄構事業

お客様の声を第一に
徹底的に追求した加工技術と品質管理。

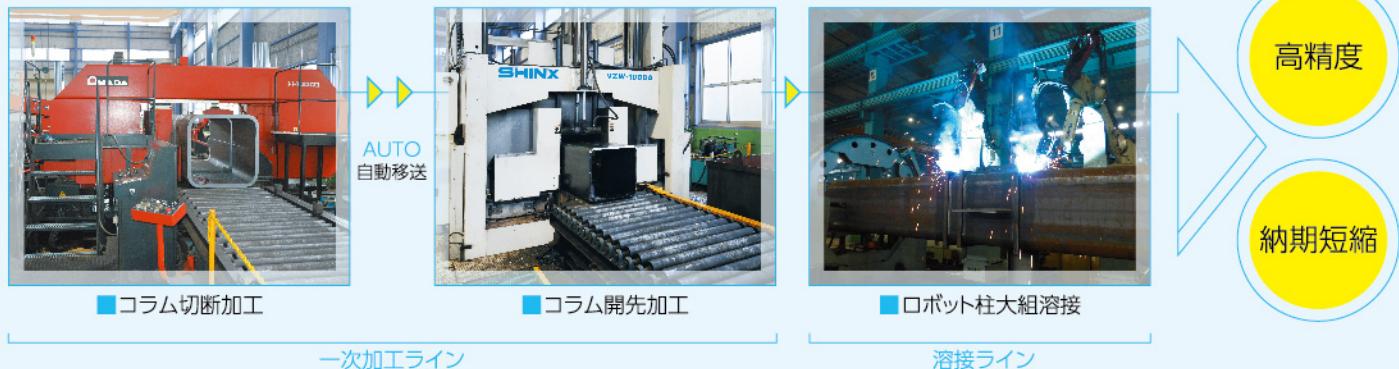


正光ブランドはここで創られる!

先進の技術力で高精度を実現。

コラムパイプ専用加工ライン

柱材コラムに特化した専用の加工ラインは、自動で効率よく鋼材を加工。また柱大組溶接口ボットの導入により、人の力では及ばない作業スピードと、ミリ単位の高い精度の両立を可能にしています。



製作工程

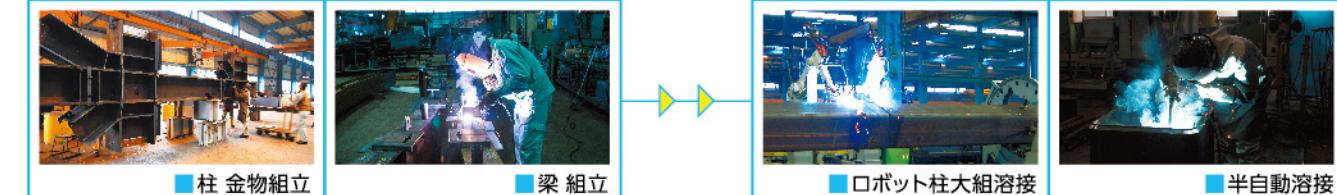
自社対応の一貫した生産ラインと最新鋭の設備でオートメーション化を実現しています。

H形鋼 コラム鋼 板材 梁 柱

一次加工ライン 一次加工を自社内で一貫して行えるラインシステム。
事務所ー工場間がLANでデータを共有することにより生産効率もアップ。



組立ライン 先行ラインで製作された柱と梁を高精度な治具を使用し、溶接手前まで組み立てます。



躯体の安全を約束する 徹底した品質管理体制。

お客様の立会いの下で行われる製品検査。寸法・材質・塗装検査のほか、溶接箇所の超音波探傷検査など、機械と人の目による多項目にわたる厳しい品質検査が行われます。



資格 技能

幅広い知識と職人技で、正光ブランドを支えるプロフェッショナル。

- | | | |
|-----------------|---------------|--------------|
| ■ 溶接技能者 | ■ 品質管理技術者 | ■ 検査技術者 |
| 建築鉄骨ロボット溶接オペレータ | 一級建築士 | 建築鉄骨製品検査技術者 |
| AWロボット溶接オペレータ | 二級建築士 | 超音波探傷試験技術者 |
| AW検定工場溶接(鋼製タブ) | 鉄骨製作管理技術者 | 建築鉄骨超音波検査技術者 |
| AW検定工場溶接(代替タブ) | | |
| JIS 溶接資格者 | ■ 溶接管理技術者 | |
| | WES溶接管理技術者 特級 | |
| | WES溶接管理技術者 1級 | |
| | WES溶接管理技術者 2級 | |

施工実績 Works



建設事業

暮らしに品質を。
テクノロジーで実現する
安心・安全なまちづくり。



日常の様々なシーンに、鉄骨という安心を。

建設事業部は、皆様の暮らしに関わる学校などの公共施設や工場の建設に携わっています。耐震性の高い鉄骨を組み込んだ建築物は、ご利用者様の安全を確実に守ります。様々な建築物を竣工してきた経験や実績を最大限に活かし、多様化する社会の需要に対応しながら、お客様に「最適」な空間をご提供いたします。



CADシステム

設計力こそ、正光の強みです。

安全性を高めたいが、武骨な鉄骨造は避けたい—そういったお悩みも、正光なら優れた設計力で解決いたします。CADシステムを用いてチームで設計を行い、効率的にデザインと機能性を追求。提案・企画から施工・維持・管理までトータルプロデュースいたします。



安心 安全

施工実績 Works





鳥取工場



本社工場

工場建築面積	7,060 m ²	2,136 坪	塗装・製品ヤード面積	1,410 m ²	427 坪
事務所延面積	1,020 m ²	309 坪	敷地面積	23,030 m ²	6,967 坪
休憩室面積	110 m ²	33 坪			
資材倉庫・車庫面積	1,110 m ²	336 坪			
社員寮面積	460 m ²	139 坪			
建物延面積 合計	9,760 m ²	2,953 坪			

正光では各生産拠点がオンラインで連携し、常に最新情報を共有することで生産効率を上げています。また、各拠点が高速道路に近い好立地に位置することも輸送効率アップに一役買っています。



夢前工場

工場建築面積	6,800 m ²	2,057 坪	塗装・製品ヤード面積	1,850 m ²	560 坪
1F事務所、2・3F厚生室延面積	930 m ²	281 坪	東側製品ヤード面積	1,130 m ²	342 坪
倉庫面積	253 m ²	77 坪	西側ステージ製品ヤード面積	2,110 m ²	638 坪
社員寮面積	145 m ²	44 坪	西側下部製品ヤード面積	9,753 m ²	2,950 坪
建物延面積 合計	8,128 m ²	2,459 坪	製品ヤード面積 合計	14,843 m ²	4,490 坪
敷地面積	45,208 m ²	13,675 坪			

生産拠点

3工場の総敷地面積は約100,000m²。広大な敷地と充実した生産体制から、高品質な正光の製品が生まれます。

工場建築面積	15,363 m ²	4,647 坪
1F事務所、2・3F厚生室延面積	744 m ²	225 坪
危険物庫面積	49 m ²	15 坪
D棟建築面積	2,668 m ²	807 坪
休憩室面積	130 m ²	39 坪
建物延面積 合計	18,954 m ²	5,733 坪
E棟(塗装ヤード)面積	1,361 m ²	412 坪
F棟(製品ヤード)面積	1,710 m ²	517 坪
屋外製品ヤード面積	2,754 m ²	833 坪
製品ヤード面積 合計	5,825 m ²	1,762 坪
敷地面積	30,641 m ²	9,270 坪

今日を生きる企業の社会的責任として、正光は環境保護と
地域に根ざした活動に、積極的に取り組んでいます。



◆ 社 是 ◆ 先憂後楽

先に考えられるだけ考えて備えを行っておけば
後は楽しく過ごせる

◆ 社 訓 ◆

精忠	せいちゅう	一途で忠義であるさま
精魂	せいこん	物事に打ち込む精神力
精氣	せいき	天地の氣で好運を呼ぶ
精緻	せいち	常にリスクに心掛ける
精廉	せいれん	潔白で私欲のこと

室町時代、山城の達磨小路に住した刀鍛冶・達磨正宗の刀の地肌は大板目、刀文は皆焼ひたらり交じり乱刃(みだらば)の名刀でした。達磨派二代目門人政光は、正光と改名して次世代に伝承されました。徳川幕府の天下統一で戦国時代は終結し、刀鍛冶は時代の流れとともに衰退を余儀なくされました。刀鍛冶の技は伝授されてきました。

丸尾一族は江戸時代中期(千七百年頃)、林業と農地開拓の盛んな当地前之庄村に居住し、打刃物鍛冶として継承されました。

歴代の高祖父・丸尾弥三吉、曾祖父・政太郎、先々代の正夫と屋号銘正光の生業(なりわい)は現代に引き継がれて参りました。

銘正光の打刃物は、奥出雲の踏鞴(たたら)の玉鋼と宍粟の千種鉄を用い、栗の木炭を鞴(たら)で火をおこし、焼けた地金を繫(つな)げて割込み、玉鋼を挟み込んで藁(わら)と粘土で巻き付けます。そして木炭の火力と炎の色具合で焼き上がりを調節します。

焼けた地金を鉄床にあげ、師匠の横座鎌と弟子の向鎌との相鎌で鍛接されます。鍛鍊を繰り返すことで刃物の形態が出来上がり、刻印名を打ち込みます。銚(めい)を用いて刃を削り、荒砥石で研磨して荒仕上げをします。焼き入れは勘(かん)と技で行い、焼き色具合と湯(ゆ)の手加減次第で切れ味が決まります。青砥石で磨き上げた打刃物の切れ味は刀のごとく、昔(ふる)き人々から広く愛用され今日に語り継がれています。

文献による達磨正宗と達磨正光の歴史に感銘すると同時に、一派に通じる思いと縁を感じています。天下剣工の匠の技の偉大さに歴史を偲びつつ、達磨大師にあやかるとともに、皆様に開運の縁が授かりますことを祈念致しております。



◆ 銘正光の由来 ◆